

令和4年度地域共生社会シンポジウム 開催要項

1 趣旨

少子高齢化や人口減少による地域社会の変化等に伴い、地域を取り巻く情勢や住民の生活課題が多様化・複雑化しています。人々が様々な生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるためには、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支えあうことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められています。

本シンポジウムでは、地域の多様な主体が『共存』し、『つながり』、地域社会を『共創』していく意義について実践事例を交えながら考え、『地域共生社会』の実現に向けた地域づくりを広げていくことを目的に開催いたします。

2 主催

栃木県、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会

3 日時

令和4年12月12日（月） 13時30分～16時00分（13時から受付開始）

4 実施方法

オンライン（Zoom）

5 参加対象／定員

地域活動に関心のある方等 / 80人（先着）

県民、社会福祉施設、企業、NPO、市町行政、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会 自治会
福祉協力員、民生委員・児童委員、主任児童委員、地域包括支援センター 障害者相談支援センター
中間支援施設、ボランティア、学生など

6 参加費

無料

7 申込み

申込フォームURL (<https://forms.gle/wAe7JNAdEdeBJg9D7>) または右下のQRコードからアクセスし、令和4年11月21日（月）までにお申し込みください。



8 プログラム内容

時間	内容
13:30~13:50	■オープニング (20') シン・地域共生シャカイ 昨今、様々なシーンで叫ばれている“地域共生社会” 福祉的なイメージが先行する中、そのイメージにとらわれない、様々な切り口から、シン（真・新）の地域共生について問いかけます。 【ナビゲーター】石井 大朗氏（宇都宮大学 地域デザイン科学部准教授）
13:50~14:40	■リレートーク（@7' ×5事例） 様々な立場、取り組みで地域づくり、地域共生に向けて活動する方々から取組を紹介します。 取り組み① 学生による地域自治活動 ～白白公民館の取り組み～ 2021年10月に結成した学生団体。宇都宮市東峰町の中にある“とみくらみんなのリビング”を拠点に地域の人と学生など様々な世代の交流促進を目的に活動。地域みんなの居場所として学生団体で運営している。 【発表者】白白公民館 館長 宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 4年 白金 励大氏 ～峰地区学生まちづくり協議会の取り組み～ 宇都宮市峰地区の学生有志による団体である峰地区学生まちづくり協議会では、地元自治会による峰地区まちづくり推進協議会と連携して、地元企業や専門家らの協力を得ながら、幅広い年代の住民らが集える場づくりなどを行っている。“「熱した」ときの学生のエネルギーを連鎖させ、持続可能な活動となるよう創意工夫している。 【発表者】峰地区学生まちづくり協議会 会長 宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科 2年 寺澤 基輝氏 取り組み② 地域企業と自治会の取り組み “うつのみや還元プロジェクト～住んでいる地域の安心安全の構築と持続可能な地域づくり”として、地域住民の不用品や住まいの無料相談や出前講座などを実施。自治会と連携して、地域の生活環境改善や住民間のつながりを深めている。 【発表者】株式会社 AXIA 代表取締役 永祚 純 氏 取り組み③ 地域で育てる 未来に羽ばたく子どもたち～地域子育ての取り組み 子育てをめぐる環境が大きく変化している今、親同士が気軽に交流できる近隣関係や、子どもが安心して遊べる居場所が必要になっている。 羽ばたきでは、地域で人々に寄り添う身近な子育て支援、多世代交流をすすめ、誰もが心地よく住みやすい地域づくりを目指して活動している。 【発表者】特定非営利活動法人いちかい子育てネット羽ばたき 永島 朋子 氏 取り組み④ 小山市中地区社会福祉協議会のたすけあい事業の取り組み 地域には、小さな困りごとがたくさんある。中地区社協では、そんな困りごとの“これだけ”を地域の力で解決する「だけボラ」というボランティア制度をつくった。地域の“世話焼き”、“おすそわけ”などの助け合いの文化を将来につなげ、みんなが安心して暮らせる地区をつくっていききたい。 【発表者】小山市中地区社会福祉協議会 事務局 塩田 忠男氏

	取り組み⑤ 地域資源を活用した社会参加支援の取り組み 法人理念として地域に開かれた総合福祉施設を目指して、障がい者支援施設事業、就労支援事業、共同生活援助事業、相談支援事業、保育事業など幅広く福祉サービスを提供している。北風と太陽は、廃校となった小学校をリノベーションしてつくった就労支援施設。利用者、その家族、地域の住民らが交流できる拠点として地域に根差した取組みを進めている。 【発表者】社会福祉法人太陽の里福祉会 北風と太陽 業務執行理事兼統括施設長 松本 和重 氏 見どころ・聞きどころコメント 【ナビゲーター】石井 大一郎氏（宇都宮大学 地域デザイン科学部准教授）
14:40～14:50	■休憩
14:50～15:40	■地域共生マルシェ～ブレイクアウトタイム この時間では、事例発表者ごとにルームに分かれます。 事前に参加者がそれぞれ希望したルームで、発表者と参加者が対話をしながら、事例を深堀します。明日への活動のヒントをもらいましょう。 ブレイクアウトタイム～その1（30'） ・・・参加者希望の事例ルームで活動取り組み内容について、発表者と参加者が対話をしながらより詳しく掘り下げます。 ブレイクアウトタイム～その2・フリータイム（20'） ・・・参加者が気になった他の事例のルームを行き来し、気になったことをルーム内で発表者や参加者間でやり取りしながら深めます。
15:40～16:00	リフレクション～会場の声 【ナビゲーター】石井 大一郎氏（宇都宮大学 地域デザイン科学部准教授）
16:00 予定	■閉会

～ナビゲーターの御紹介～

石井 大一郎（いしい だいいちろう）氏

*宇都宮大学 地域デザイン科学部准教授。専門分野は、市民参加、地域自治。

*著書に、石井大一郎・霜浦森平編著「はじめての地域づくり実践講座 北樹出版、2018年4月」

（コミュニティ政策学会理事・関東支部長）



9 お申込み／問合せ先

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉・ボランティア課

（担当：品田・桧原）

〒320-8508 宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

（TEL）028-622-0525 （FAX）028-621-5298 （Mail）tiikiv@tochigikenshakyo.jp

7